

## CONTENTS

- 会長挨拶  
「建設業界の担い手を確保する方策が始動」  
会長 新井 栄作（摂大昭和60年卒）
- 学科長挨拶  
「教員の刷新の進む都市環境工学科」  
教授 瀬良 昌憲
- 総会報告 平成27年度通常総会開催される
- 「脈々と続く教育改善の営み ～理工学部の現状と展望～」
- 研究室だより
- 教室だより
- 「都市環境システム工学科 建築士プログラム」  
（一級建築士受験資格）認定条件
- 2016年度就職状況
- [摂南大学土木会] 平成27年度 決算書・平成28年度 予算書
- 卒業生特集  
求められる技術と人材
- 同窓会報告
- 技術士会だより
- 事務スタッフ紹介
- 在学生特集  
テーマ「大学で挑戦したいこと」



## 建設業界の担い手を確保する方策が始動

会長 新井 栄作（摂大昭和60年卒） 信幸建設（大阪）社長



会員の皆様には、各方面で益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。私が会長になり2期4年目になります。半世紀以上の歴史ある土木会を発展させるために、微力ではありますが、一層の努力をする所存であります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。土木会の役員会、評議員会は2ヶ月に一度開催し、土木会の発展に寄与する活動を続けています。参加希望者は「摂士会HPからのメール」をご利用ください。

さて、建設業界は四半世紀ぶりに活況を呈していると言われている。中期的には都市部を中心に堅調な投資が予想されており、一方で、人口減少や財政上の制約等により、長期的な投資の拡大は見込み難い状況にあります。また、こうした社会的背景の中で、労働集約型産業である建設業では、生産性向上が喫緊の重要課題となっています。

国土交通省では、「ICT」の全面的な活用（ICT土工）等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取組であるeConstruction（アイ・コンストラクション）を進めています。

今年度（平成28年）早々熊本地震によりお亡くなりになられた方々にお悔み申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

国土交通省は、建設現場の生産性向上に向けて、測量・設計から施工、さらに管理にいたる全プロセスにおいて、情報化を前提とした新基

上げます。

準を今年度から導入しました。この取組みを「ICT」（情報通信技術）と名づけ、土木工事の土工、コンクリート工で利用されています。土工はドローンによる空撮写真をもとに、短時間で高密度な地形の3次元測量を行います。地形の3Dデータは設計や施工計画に引き継がれ、現況地形と設計図面を3Dモデルによって比較し、切り土量や盛り土量を自動算出されます。コンクリート工は鉄筋のプレハブ化や型枠、部材のプレキャスト化を大幅に導入することで、省力化や工期短縮できます。また、来年度は土木工事に続き浚渫工事などの港湾分野で「ICT」の全面的な活用を踏み出す予定です。

「ICT」の活用は、担い手確保の条件として、他産業に負けない賃金水準の確保、社会保険加入、4週8休の確保といった具体的な取り組みを推進していくことが強く望まれます。

最後に、会員の皆様には一層のご支援を賜りますようお願いいたします。今年度の挨拶とさせていただきます。Good Luck!

## 教員の刷新の進む都市環境工学科

教授 瀬良 昌憲



摂南大学土木会会員の皆様には平素より本学科の運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今年4月より学科長の発展に力を注ぎたいと思います。どうぞよろしく願い申し上げます。

木先生と石田先生が異動になりました。その数は10名の専任教員の半分に当たります。その上、長きにわたり本学科の発展に多大な貢献をされた頭井先生が来年度3月に退職されます。平成3年に土木工学科教員として着任され、四半世紀の長きにわたり教鞭をとってこられました。また、本学科共通準備室スタッフであった河合さんが退職され、後任に山田さんが着任されました。特任を含む専任教員10名、共通準備室スタッフ3名で学科を運営しています。

学科改変に伴い都市環境工学科となつて早くも7年目を迎えました。数年前から求人はいくつもなっており、昨年は国家・地方の公務員の採用者が10名を数えました。（卒業生の16%強）今年も公務員希望者は多く、既に国家公務員の内定者も出ており、さらに地方公務員の合格者も多数出てくれると期待しています。

学科の教員はここ数年で3名の先生方（海老瀬先生・澤井先生・道廣先生）が退職され、八

2018年度にJABEE認定の継続審査に向けて、本学科は本年2月に3名の委員による教育プログラムの外部評価を受審しました。その結果、プログラムの修了生の実質的な評価の必要性が指摘されました。そこで、本学科では実質的な評価の指標として摂南大学土木会会員の皆様が取得された資格（例えば、技術士や施工管理技士など）を調査することになりました。この件については別途土木会会員の皆様にご協力をお願い申し上げます。

全面的な協力のもとに、在学生向けの技術士啓蒙のための特別講演会を今年も6月に実施しました。講演会の冒頭に木下会長から摂南大学技術士会の活動状況をお話いただいた後、廣瀬氏（技術士・奥村組土木興業）と東中氏（本学大学院生）から、技術士資格の必要性や技術士一次試験の受験の心構えについて講演を頂きました。講演会への技術士会から飯田氏、新井氏、新田氏、青木葉氏、佐々木氏の参加があり、有益な情報交換の場となりました。なお、この講演会のお陰で、技術士一次試験合格者（学部在籍者）が昨年まで2年連続で3名ずつが出ています。

## 頭井 洋 教授

## 退職記念講演会と祝賀会のご案内

摂南大学において26年に亘り教鞭をとってこられました頭井洋教授が、来年度（2017年）3月31日をもちまして退職されることになりました。つきましては、下記の通り退職記念講演会が開催されますので、ご案内申し上げます。また、退職記念講演会のあと、先生を囲んだ祝賀会を催します。ご多用中のところ誠に恐れ入りますが、卒業生や先生と親交の深い方々をはじめ皆様のご来臨をお待ちしております。

## 退職記念講演会と祝賀会

日時：2017年3月11日（土）午後3:30より（予定）

会場：摂南大学 寝屋川キャンパス

詳細につきましては、当学科のHP（<http://www.setsunan.ac.jp/civ/>）でご確認ください。（2017年1月頃掲載予定）

問い合わせ先：摂南大学理工学部都市環境工学科 田中 賢太郎  
TEL&FAX: 072-800-1143  
E-mail: tanaka@civ.setsunan.ac.jp

## 総会報告

## 平成27年度通常総会開催される

代表幹事 中土井 敬史（西日本旅客鉄道（株） 摂大平成7年卒）

平成27年度の特別講演会と土木会総会が平成27年11月14日（土）午後3時より、常翔学園大阪センターにおいて、多数の出席者の中で開催されました。

特別講演会は、厚生労働省北大阪労働基準監督署労働衛生専門官の坂本圭氏（摂大平成10年卒）による「『ご安全に!!』～労働災害防止の合言葉～」と題する講演で、災害防止対策について実際の災害事例を交えてわかりやすく説明頂き、「ご安全に!!」という簡単な言葉の奥にある本当の意味、意義をご講演頂きました。

総会は、新井会長（摂大昭和60年卒）の挨拶に始まり、代表幹事の司会で、陰山豊秀氏（高専昭和50年卒）と村川互氏（摂大昭和61年卒）の両氏を議長団に選出し、平成26年度事業報告・決算報告および平成27年度事業計画・予算案について審議され、それぞれ原案どおり承認されました。

総会に引き続いて、懇親パーティーを毎日インテシオ3Fラウンジ翔において、摂南大学理工学部都市環境工科学科長の頭井洋先生のご臨席を賜り、代表幹事の司会で盛大に開催されました。

ご来賓の各先生方、各卒業生会代表から土木会に対して、ご祝辞と激励のお言葉を頂戴いたしました。

会員相互の親睦を深め、終始和やかな雰囲気の中、八木俊策先生の万歳三唱をもって、次回（平成29年）の再会を誓って閉会いたしました。



## 研究室だより

### 一建設材料研究室ー 都市環境工学科 教授 熊野 知司

早いもので、2001年4月に摂南大学工学部土木工学科（当時）に着任してから今年で15年になりました。その後、学科名も都市環境システム工学科、理工学部都市環境工学科と改称されてきましたが、研究室では一貫してコンクリートに関する研究を行っています。着任当初は私自身がゼネコン出身ということもあり、フレッシュコンクリートの施工性能や温度ひび割れ解析に関する研究テーマからスタートしました。それから15年が経過し、社会の変化とともに企業や学会委員会とのつながりも増え、研究テーマも多様化してきました。今年度の研究テーマとして取り上げているのは、次の4テーマです。

- ・SBRの添加による再生コンクリートの耐久性の向上に関する研究
- ・コンクリートへの電磁波吸収性能の付与に関する研究
- ・コンクリートの変形挙動における粗骨材による拘束効果に関する研究
- ・暑中施工における初期高温履歴を受けたコンクリートの強度に関する研究

これらのテーマの中には継続して取り組んでいるテーマもあるため、卒業生の皆様には懐かしい響きがあるかも知れません。研究の歩みは決して早くはありませんが、歴代のゼミ生の皆さんの頑張りで、一步ずつ前に進んでいます。成果をまとめて大学院生と協力して土木学会や日本コンクリート工学会等に論文として投稿したり研究発表を行っています。

今年度は大学院生が不在ですが、卒研生8名で研究を進めています。元気の学生が多く、仲良くゼミ活動を進めています。卒業生の皆様も機会がありましたら、研究室を覗きにきてください。建設材料実験室での実験の日々が蘇ると思いますよ。



### 脈々と続く教育改善の営み ～理工学部の現状と展望～

理工学部 学部長補佐 都市環境工学科 教授 熊谷樹一郎

理工学部では、工学部時代から4期8年間にわたってご指導いただいた森脇俊道先生が2016年3月末をもって学部長を退任され、4月より機械工学科教授の川野常夫先生が新たに学部長に就任されました。川野学部長は、18歳人口の減少が見込まれる中で大学間に厳しい競争のもたらされる現状にたいへんな危機感をもたれており、これまで推し進めてきた教育改善・研究推進を学部一体となってさらに進めていく決意を表明されました。

理工学部内には複数の委員会が設置されており、各学科から選出された教員が在籍しています。各委員会には、学部長の方針に沿ったミッションが与えられ、日々の改善活動が実施されてきています。あまり表にでることのない学部内の委員会ですが、これらの着実な活動が理工学部を支えているわけです。主な委員会は次のとおりです。

- ・教務委員会 ・FD委員会 ・自己点検・評価委員会 ・広報委員会
- ・理工学部基礎実験実施委員会 ・情報処理検討委員会 ・テクノセンター運営委員会 ・地域連携委員会 ・学習支援委員会 ・教育貢献表彰推薦委員会 ・インターンシップ実施委員会 ・科学技術教養編集委員会 ・融合科学研究所運営委員会 ・安全委員会

なかでも、喫緊の課題となっているグローバル化に対応した英語教育の充実については、複数の委員会にまたがったミッションが挙げられており、学部全体での取り組みをさらに強化してきています。この英語教育については、これまでも当学科教授で前学部長補佐・理工学部教務委員長の伊藤譲先生が中心となって改善・強化を進めてきました。その結果、本年7月までに、①TOEIC600点以上：昨年度末2名（内日本人1名）→4名（内日本人2名）、②TOEIC共通試験（上位クラス）1年次：24点アップ、同2年次10点アップ（いずれも昨年度比）、③TOEICおよびTOEIC-IP試験での下位学生の底上げを実現、などといった成果が現れてきています。

一方で、学部からつながる大学院の教育の充実にも継続して力が注がれています。なぜなら、大学院の強化は学部のみならず、大学全体の強化に直結するからです。その一環として、大学院における教員表彰制度も整備されています。学生（院生）側だけでなく、教員側にもモチベーションを高めてもらう試みといえるでしょう。受講学生数・指導学生数、授業アンケート結果、学会発表・論文執筆の指導、指導院生の受賞などが表彰対象者の選定根拠となっています。今後の大学院教育の強化への寄与が期待されるところです。

**OGC**

建設コンサルタント・環境コンサルタント・情報測量・情報管理

**大島技術コンサルタント株式会社**

本社 岡山県真庭市青上緑田829-1  
〒717-0602 ひるぜん TEL 0867-66-3673(代)  
FAX 0867-66-3674  
URL: <http://www.ogc-light.co.jp>

**このまちを未来へつなぐ 総合建設コンサルタント**

**株式会社 アスコ大東**

大 阪 本 社 〒541-0054 大阪市中央区南本町3-6-14  
TEL 06-6282-0310 FAX 06-6282-0311

京 京 本 社 〒103-0006 東京都中央区日本橋渡町9-19  
TEL 03-5641-2181 FAX 03-5641-2187

神 戸 支 社 〒657-0841 神戸市灘区灘南通5-6-15  
TEL 078-871-5611 FAX 078-871-5541

桑 島 支 社 〒634-0813 奈良県橿原市四条町279-1  
TEL 0744-21-0041 FAX 0744-21-0031  
URL <http://www.as-dai.co.jp/>

大阪市内より30分圏内の  
緑豊かなお墓地をご案内いたします。  
お墓のことならどんな事でもお気軽におたずね下さい。

**お墓の相談コーナー ☎0120(305075)**

**(株) 太田石材店**

本社 大阪市城東区古市1丁目23番20号  
TEL 06-6930-5075

——当社推奨霊園——

|              |                 |
|--------------|-----------------|
| 純粋寺霊園(茨木市)   | 阪部洗風墓地(豊中市)     |
| 陸国寺墓地(吹田市)   | 竜の子霊園(奈良県)      |
| 海印寺墓地(長岡京市)  | 玉手山墓園(松原市)      |
| 王寺霊園(奈良県)    | 坂高メソリアパーク(四條畷市) |
| 東本願寺天満別院(北区) | 坂高霊園(四條畷市)      |
| 北栢霊園(豊能郡)    | その他公営墓地         |
| 真龍寺霊園(茨木市)   |                 |

新しい時代。  
『人と環境にやさしい』吹付のリ枠工法

**GTF® GTフレーム工法**

NETIS 登録番号 CG-010619-A

**Ecology** イビデングループは環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます。

**ig イビデングリーンテック株式会社**

【本 社】〒503-0021 岐阜県大垣市河原町3-55  
TEL 0584-81-6111 FAX 0584-74-1571 <http://www.ibiden.com/ig/>



学科主催の行事として、2015年9月10日に実施した講演会（協力：（一社）建設コンサルタンツ協会）および現場見学会について報告させていただきます。現場見学会では、1年生は2箇所に、3年生は3箇所の現場を見学しました。摂土会を通じて、新名神高速道路京田辺工区八幡ジャンクション・京田辺高架橋工事（案内：西日本高速道路（株））の見学先をご紹介いただきました。この紙面をお借りして、心より厚くお礼申し上げます。



新名神高速道路京田辺工区八幡ジャンクション・京田辺高架橋工事(3年生)



新名神高速道路京田辺工区八幡ジャンクション・  
京田辺高架橋工事(3年生)

昨年7月以降に寄付いただいた方を  
今号にてご紹介いたします。(順不同)

（順不同）

|            |            |          |          |          |
|------------|------------|----------|----------|----------|
| 萬井奧藤江大新西森由 | 野上田原光島井川朝俊 | 博統日出正榮彦介 | 史嗣男佑樹作彦  | 仲直       |
| (昭和48年卒)   | (昭和63年卒)   | (昭和46年卒) | (昭和25年卒) | (昭和47年卒) |
| (昭和48年卒)   | (昭和42年卒)   | (昭和44年卒) | (昭和47年卒) | (昭和48年卒) |
| 箱橋槇荒別梶高井高田 | 井本山敏幸      | 瀨美喜夫     | 原博史      | 石清賢      |
| (昭和59年卒)   | (昭和42年卒)   | (昭和44年卒) | (昭和47年卒) | (昭和48年卒) |
| (昭和59年卒)   | (昭和42年卒)   | (昭和44年卒) | (昭和47年卒) | (昭和48年卒) |
| 井康順        | 梯造         | 幸        | 宏        | 彰        |
| (昭和59年卒)   | (昭和42年卒)   | (昭和44年卒) | (昭和47年卒) | (昭和48年卒) |

「都市環境システム工学科 建築士プログラム」(一級建築士受験資格)認定条件※1

| 入学年(西暦) | 入学年(平成) | 学科          | 「建築士プログラム」認定の条件                                                                                                                 |
|---------|---------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2002    | 14      | 都市環境システム工学科 | 平成20年度開講の「建築製図」又は平成21年度から開講の「建築設計製図Ⅰ」を科目履修生として単位取得する <sup>*2</sup> 。又は同等の科目を他大学で履修して単位取得する <sup>*3</sup> 。                      |
| 2003    | 15      |             |                                                                                                                                 |
| 2004    | 16      |             |                                                                                                                                 |
| 2005    | 17      |             | 平成20年度開講の「建築製図」を単位取得して卒業する。又は卒業後に「建築設計製図Ⅰ」(平成21年度から開講)を科目履修生として単位取得する <sup>*2</sup> 。もしくは同等の科目を他大学で科目履修して単位取得する <sup>*3</sup> 。 |
| 2006    | 18      |             |                                                                                                                                 |
| 2007    | 19      |             | 平成21年度から開講の「建築設計製図Ⅰ」を単位取得して卒業する。又は卒業後に「建築設計製図Ⅰ」を科目履修生として単位取得する <sup>*2</sup> 。もしくは同等の科目を他大学で科目履修して単位取得する <sup>*3</sup> 。        |
| 2008    | 20      |             |                                                                                                                                 |
| 2009以降  | 21以降    |             | 認定されない。 <sup>*4</sup>                                                                                                           |

※4：2009年度入学生（2010年度以降は都市環境工学科）からは新建築士法が適用されます。「建築士プログラム」は認定されませんが、新建築士法の規定により、指定科目の履修と所定の実務経験から二級建築士の受験資格が得られます。

報  
訃

平成27年12月23日に永眠されました。

平野 慎策 様  
(高専48年卒業)

平成28年4月20日に永眠されました。

山本忍（旧姓木戸）様（高専昭和53年卒業）

謹んでご冥福をお祈りします。



## 代表取締役 荻田孝太郎

ISO9001 本 社 〒660-0087  
ISO14001 尼崎市平左衛門町18番31号  
TEL. (06)6419-2981 (代表)  
ホームページ: <http://karitakensetu.com>  
三田営業所 三田市天神 1 丁目 2-12  
TEL. (079)563-0095

大規模開発（住宅団地・工業団地）／  
土地区画整理事業／建築設計／  
環境アセスメント

業者登錄

- ・建設コンサルタント 登録番号・建124第4364号  
・一級建築士事務所 登録番号・第A3563号  
・測量業 登録番号・第7-15601号  
・補償コンサルタント 登録番号・補23第2949号

代表取締役 **井上 忍**  
(昭和44年3月卒業)

事務所：東京・水戸  
TEL 03-5828-6855

## ●環境・水

- 多層多孔電気伝導度計測システム ■地下水資源探査・開発 ■マルチチャンネル音波探査(2D・3D)  
■土壌・地下水汚染調査 ■環境予測・評価 ■水上三次元音響測深  
■自然中・重要金属迅速判定(ポルタムトリー法) ■シングルチャンネル音波探査 ■海底地震計

## ●海洋・エネルギー

- マルチチャンネル音波探査(2D・3D)
- 水上三次元音響測深
- シングルチャンネル音波探査

## ●防災・減災

- 土砂災害予測・計測システム ■空洞写真・空洞内部計測装置 ■バルスレーダ探査 ■連続レーダ探査 ■EM探査  
■スリープ震源による地質構造探査と地震動評価 ■コンクリート劣化診断 ■GOTEN-1k (孔内局部荷重試験)  
■大型大口径探査器 ■IT統合計測システム ■高圧ベクトル磁材 ■SAAM-Jerky (経量型17トント

## ●メンテナンス

- パルスレーダ探査 ■連続波レーダ探査 ■EM探査  
■コンクリート劣化診断 ■GoTEN-tk(孔内局部載荷試験)  
■孔内ベクトル磁気計 ■SAAMジャッキ(軽量型リフトオフ試験機)

Doctor of the Earth

Sincerely, Speedy, and best Solution.



川崎地質株式会社

Kawasaki Geological Engineering Co., Ltd. <http://www.kge.co.jp/> E-mail: [post-master@kge.co.jp](mailto:post-master@kge.co.jp)

〒108-8337 東京都港区三田2-11-15  
TEL.03-5445-2071 FAX.03-5445-2073



安全で住み良い街づくりを

総合建設業

株式會社 紙谷工務店

代表取締役社長 紙谷 繁 夫

本社 大阪府吹田市江坂町3丁目3番1号  
TEL(06)6385-1701(代表)  
FAX(06)6330-6406

支店 東京支店・札幌支店・池田支店



## 【摂南大学土木会】 平成27年度 決算書・平成28年度 予算書

平成27年度決算は表1のとおりであり、監査を経て、平成28年5月の役員会で収支とも相違ないことが認められた。

また、平成28年度予算は表2に示すとおりである。

表1 平成27年度決算

| 収入の部            |           |           |
|-----------------|-----------|-----------|
| 科目              | 予算        | 決算        |
| 前年度繰越金          | 849,028   | 849,028   |
| 正会員入会金<br>(60名) | 600,000   | 600,000   |
| 広告料             | 320,000   | 280,000   |
| 預金利息            | 500       | 856       |
| 名簿売上            | 3,000     | 0         |
| 特別積立金より繰入       | 0         | 0         |
| 創立50周年寄付金       | 0         | 165,000   |
| 寄付金             | 0         | 100,000   |
| 雑収入             | 0         | 130,000   |
| 合計金額            | 1,772,528 | 2,124,884 |

| 支出の部           |           |           |
|----------------|-----------|-----------|
| 科目             | 予算        | 決算        |
| 事務費等           | 140,000   | 30,582    |
| 総会費            | 400,000   | 170,066   |
| 名簿追加修正費        | 30,000    | 24,000    |
| 会報発行費          | 800,000   | 728,269   |
| 同窓会補助          | 30,000    | 0         |
| 役員会・評議員会費      | 100,000   | 34,590    |
| 特別講演会<br>(2人分) | 100,000   | 100,000   |
| 慶弔費・見舞金        | 70,000    | 59,184    |
| 雑費             | 30,000    | 7,710     |
| 予備費            | 72,528    | 0         |
| 次年度繰越金         |           | 970,483   |
| 合計金額           | 1,772,528 | 2,124,884 |

平成27年4月1日現在 特別積立金330万円

表2 平成28年度予算

| 収入の部          |           |
|---------------|-----------|
| 科目            | 予算        |
| 前年度繰越金        | 970,483   |
| 正会員入会金        | 600,000   |
| 広告料           | 320,000   |
| 預金利息          | 500       |
| 名簿売上          | 3,000     |
| 特別積立金<br>より繰入 | 0         |
| 合計金額          | 1,893,983 |

| 支出の部          |           |
|---------------|-----------|
| 科目            | 予算        |
| 事務費等          | 140,000   |
| 名簿追加<br>修正費   | 30,000    |
| 会報発行費         | 800,000   |
| 同窓会補助         | 30,000    |
| 役員会・<br>評議員会費 | 100,000   |
| 慶弔費・<br>見舞金   | 70,000    |
| 雑費            | 30,000    |
| 特別積立金         | 500,000   |
| 予備費           | 193,983   |
| 合計金額          | 1,893,983 |

平成28年4月1日現在  
特別積立金380万円

## 2016年度就職状況

### 夢・目標をしっかりとって就職活動に挑もう

都市環境工学科 准教授 田中 賢太郎

公共と民間を合わせた建設投資（国土交通省の統計）は、2010年度までは減少していましたが、2011年度の東日本大震災を機に増加傾向であり、2015年度見通しは約50兆円（GDP比で約10%）となっています。地域ごとに社会資本整備の動向は異なりますが、インフラ整備の需要、社会資本の老朽化による維持修繕工事や更新工事、地震により受けた被害を速やかに復旧させる事業により大幅な増加が続いており、まちづくりや住宅再建の加速化に向けて、しばらくはこの傾向が続くと予測されています。また、全国で発生している集中豪雨に伴う土砂災害、その他の大規模自然災害が相次いで発生していることから、減災に向けた対応を強化していく必要があるため、各社とも大幅に募集人員を増やしています。

今年度は、伊藤教授と田中とが就職担当として指導しています。9月2日現在の進路内定状況は、4年次生66名中進路内定者45名（68%）、大学院2年次生3名中進路内定者3名（100%）となり、全体で69名中48名（70%）となっています。今年度は昨年と同様に公務員志望者が多く、現在結果待ちまたは挑戦中である学生がおりますが、昨年度の同時期と比較すると約20%程度増えています。

一方、就職支援体制をより強化すべく、2016年10月に学内で開催予定の摂南大学土木学会員向けOB・OG講演会では、ゼネコン、コンサル、官公庁、地元企業などで各職種に従事しておられる先輩より、1職種当たり各15分程度の講演をいただく予定です。これからの若者に業界の将来を担ってもらうこと、近年の離職率増加をなんとかくい止めたいと業界全体が願っていることもあり、その選択においての業界紹介をして頂きます。土木会から学生に対し強いメッセージやアドバイスなどいただく機会をぜひお願い申し上げます。このような機会を設けてくださり、摂南大学土木会の会員の皆様に感謝申し上げます。

また、本学の卒業生である会員の皆様との情報交換やアドバイスをいただきながら、先輩たちがやりがいある充実した幸せな人生を過ごせるように更なるご支援をいただければ幸いです。

## 感謝の気持ちを未来へ。

建設業許可番号 国土交通大臣 許可（特一第）20898号  
一級建築士事務所登録番号 滋賀県知事登録（口）第1898号  
ISO 9001:2008 登録番号 RQ0678 ISO 14001:2004 登録番号 RE0352

# 株式会社 桑原組

代表取締役社長 桑原 勝良

本社 〒520-1212 滋賀県高島市安曇川町西万木926番地  
TEL 0740(32)2345(代) / FAX 0740(32)0700  
大津本店 〒520-0801 滋賀県大津市におの浜一丁目1番24号  
TEL 077(525)0999 / FAX 077(522)1418

環境・エネルギー、防災・減災、  
アセットマネジメントの視点から、  
新しい時代が求める  
「グリーン・コミュニティ〜未来のまちづくり」  
を推進します。

Japan Asia Group  
国際航業株式会社

関西事業所 / 西日本支社

〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町 1-1-15 TEL : 06-6487-1111

## 「助かる命をむだにしない」

自然災害調査、地盤調査、各種構造物施設点検  
全国各地での地盤防災についての講演  
地盤防災士の育成、防災教育の普及と啓蒙活動

地盤を学び災害から身を守る技術を提供します

## 一般社団法人 地盤診断機構

代表理事 田中 昌明(昭和48年卒)

大阪事務局 〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-25-303  
TEL: 06-4795-5017 FAX: 06-6729-1780  
東京事務局 〒154-0023 東京都世田谷区若林4-17-17  
TEL: 03-6453-2321

E-mail: info@jsk-jiban.com URL: http://www.jsk-jiban.com

地盤防災ジャパン

コンクリート製品と建設業を通して、  
人々の「安心」「安全」な暮らしの環境造りに貢献する。

事業内容 コンクリート二次製品の焼成・設計・施工・製造・販売及び総合建設業  
代表者 代表取締役社長 荒川 俊

本社 〒613-0903 京都市伏見区深草町222番地  
TEL 075-631-3231 FAX 075-631-9588  
営業所 宇治、奈良、京都、静岡、愛知、三重、滋賀、  
京都、奈良、大阪、和歌山、兵庫、香川、福岡、沖縄  
工場 京都、三重、兵庫

KCON ケイコン株式会社  
http://www.kcon.co.jp

## 近況報告

南海辰村建設株式会社 営業部 工務課  
植田 剛士  
(撰大平成11年卒・撰大院平成13年修)



私が南海辰村建設に入社し、今年で15年が経過しました。弊社は南海電鉄グループの建設部門であり、土木分野の約6割が鉄道関連の工事となっています。入社からの約10年は工事部に所属し、現場監督として南海電車の連立事業や駅バリアフリー工事、またNEXCOの阪和道や千葉県の圏央道建設工事に携わって参りました。

工務課に移動してからは、主に南海電鉄関連の工事計画や見積もり作成業務を担当しております。また土壌汚染の分野では指定調査機関の指定を受け、土部内に「地球環境グループ」を設置し、私を含め3名の土壌汚染調査技術管理者を配置しています。そして年間数件の土壌汚染関連業務に携わり、行政との法的業務や、調査・措置に関する計画や施工等の総合プランニングを行っています。

また、今年起こった熊本大地震や南海トラフ大地震が切迫する中、災害に対する安全の確保は重要な社会問題となっています。南海電鉄においても鉄道高架橋の耐震補強工事が最盛期を迎えており、ラーメン高架橋の柱に対するせん断補強や、橋梁桁の補強工事が急増しています。

私は数年前からこれらの耐震補強工事を主に担当し、高架橋の現地踏査や補強工法の立案、施工計画や工事費の算出といった業務に携わっております。鉄道という重要なフラの耐震補強工事を通して、防災の大切さを実感する事が出来ました。今後もこれまでに取得してきた耐震技術や施工ノウハウを若手社員に継承し、自らも技術革新を行う事で、安全安心な社会資本整備の構築に尽力する所存です。

おわりに、近年の建設業界は少子高齢や建設就業人数の減少に伴い、慢性的な人手不足の状況が深刻化しています。弊社においても若き担い手の確保や、技術者への教育や育成は、今後最も重要なテーマとなっています。建設業に誇りを持ち未来に希望を感じ、産業に力添えを、私たちが一緒に盛り上げてくれる力あふれる撰大生に、これからも出会える事を楽しみにしております。

## 社会に出て感じたこと。

株式会社ホクコン  
守本 絵美子 (撰大平成22年卒)



私は、株式会社ホクコンに入社して7年目になります。入社時から大阪事務所設計技術チームでコンクリート二次製品の設計業務を行っています。入社当時は簡単な図面作成が主な業務でしたが、徐々に構造計算であったり、製品開発、改良業務に携わったりするようになっていきました。入社前はどんな業務をするのかあまりイメージできていなかったのですが不安もあつたのですが、先輩方に丁寧に業務内容を教えてもらったり、相談に乗ってもらったりして出来る仕事がたくさん増えていきました。設計部署のため主に事務所内での業務になるのですが、自分の携わった製品の製造確認・施工確認のために工場や現場へ行かせてもらうことで、自分の設計したモノが形になって実際に施工される様子を見て、ほとんどが地下構造物のため、人の目に触れることは無いですが、今後何十年にもわたって残るということを実感し、現在の仕事にやりがいを感じました。

社内教育の一環としてコンクリート技士という資格取得にもチャレンジしました。新しく覚えることもたくさんありましたが、大学時代に学んだことが基礎となっていました。大学生活の中では学ぶことが多かったためなかなか大変だとは思いますが、卒業後に必ず必要となる知識ばかりですので、日々の勉強を頑張ってください。また、勉強だけでなく部活動やアルバイトからも社交性などを身に付けるのも大事だと思います。

最後に、土木業界では、まだ女性技術者が少ない状況のため、女性には少し厳しいイメージがあると思います。しかし、近年女性技術者は増えており、土木業界での女性の採用枠というの増加傾向にあります。土木＝男性というイメージは強いですが、女性へのチャンスもしっかり与えてくれる会社も多いです。土木業界に興味のある方は、イメージに負けずに頑張ってください。

異動を経験し、許可可業務から都市計画、建物等の移転補償、工事等を担当させていただき、多岐に渡って行政の仕事を経験しているところです。まだまだ経験の少ない若輩者ではありますが、私が経験した業務の経験談を紹介させていただきます。

## 入庁6年目を迎えて

奈良市役所  
長井 勇祐 (撰大平成23年卒)



私は平成23年に卒業し、奈良市役所に入庁してから今年で6年目になります。この5年間で2回の異動を経験し、許可可業務から都市計画、建物等の移転補償、工事等を担当させていただき、多岐に渡って行政の仕事を経験しているところです。まだまだ経験の少ない若輩者ではありますが、私が経験した業務の経験談を紹介させていただきます。

まず、就職活動をしている方によく聞かれるのですが、土木職での公務員と言っても仕事の内容は様々です。計画や指導、許可可工事、維持管理、etc.と、また所属の部署(道路、河川、上下水、公園、公共施設等)によってもかなり違う内容ですので、一括りに公務員の仕事がどういふものなのかと聞かれても正直困ってしまいます。ただ、その中でも市民生活を支える重要な役割を担っていることに変わりはないと思います。

その中で昨年は建物移転補償業務を担当し、権利者に移転の計画を説明した上で合意を頂き、コンサルを交えるの調査・補償金額の積算を行います。権利者の財産に関わることでシビアな内容になりますが、最後まで説明責任を果たし、理解を得ることがまちづくりに非常に大切であると感じました。

また、前所属の都市計画課では窓口業務があり、来訪者の応対マニュアルはあるものの、要望している情報・資料は様々であるため、来訪者と共に他課に確認に行くことはよくあります。そのような時に相談できるコミュニケーション能力は公務員でも当然必要になってくると思います。

このような仕事を経験し、ゼネコンやコンサルで通って、工事の発注やインフラの維持管理が中心の自治体では、市民対応等の場面で「技術力」を発揮することになるのではないのでしょうか。

## 大学生の皆様へ

佐藤工業(株)東京支店メトロ上野作業所  
藤原 正佑 (撰大平成25年卒・撰大院平成27年卒)



私は平成27年3月に撰南大学大学院を卒業し、同年4月に佐藤工業(株)に入社してから今年で2年目を迎えます。入社して現在まで、東京地下鉄(株)の上野駅、稲荷町駅、上野広小路駅の3駅のエレベーター設置に伴う土木工事の携わっております。中でも稲荷町駅での工事は、計画段階から竣工まで携わることができ、非常にいい経験になったと思います。

典型的な都市土木の開削工事ということもあり夜間作業が主で、1年目から夜勤で現場に一人で立つことが多かったのですが、そのため、現場に出るときは分らないことが何一つ無いようにしようと、現場への理解を深めるのに必死でした。様々な困難がありましたが一歩一歩進んでいくことが、説明することの難しさでした。発注者、職長、作業員の方から、上司や先輩に対して、上手く施工についての説明が出来ず、現場を混乱させてしまつこともありました。

上司や先輩から怒られることも多かったですが、この現場は自分の現場でもあるんだ。人任せにしないで、自分自身でしっかり現場管理しようという強い責任感を持つことが出来ました。また、完成した構造物を目の前にすると、大きな達成感とやりがいを感じることが出来ました。

大学生の皆様はこれから多くの講義を受けることだと思います。そのとき少しでも良いので、自分が理解したと思った内容について「自分がもしこの内容について説明をするのであればどのように説明するか」ということについて考えてみて下さい。説明する立場になってみると見落としや誤り、理解できない部分が出てくると思います。しかし、社会に出ると様々な相手に多様な場面での説明をする機会があります。そのときに困らないよう、普段から自分のしていることについての理解とその説明の仕方について考えるよう心掛けることでこれらの就職活動や研究活動、仕事にも生きてくると思います。頑張ってください。

典型的な都市土木の開削工事ということもあり夜間作業が主で、1年目から夜勤で現場に一人で立つことが多かったのですが、そのため、現場に出るときは分らないことが何一つ無いようにしようと、現場への理解を深めるのに必死でした。様々な困難がありましたが一歩一歩進んでいくことが、説明することの難しさでした。発注者、職長、作業員の方から、上司や先輩に対して、上手く施工についての説明が出来ず、現場を混乱させてしまつこともありました。

真心と技術で創造します

企業 建築・土木・環境・防災・都市計画・交通・情報・システム

設計 建築設計・土木設計・環境設計・都市計画・交通・情報・システム

施工 建築施工・土木施工・環境施工・都市計画・交通・情報・システム

大鉄工業

〒532-8532 大阪市淀川区西中島3丁目9番15号  
http://www.daitetsu.co.jp/

株式会社 修成建設コンサルタント

快適な国土をデザインする

代表取締役社長 八尾 博彦

事務所 兵庫・姫路・京都・滋賀・福井・奈良・和歌山・名古屋

卒業生 吉澤慶文 高専土木 S50 徳久仁志 高専土木 S54 小東宏光 撰大 H4 藤原基享 撰大 H7 川野真樹 修土過程 H20 林場大太 修土課程 H25

環境 交通計画 都市及び地方計画 調査・分析 特殊車両 施工計画 橋梁 地下構造物 道路 防災 港湾・空港 交通、情報、システム、そして人

自然、環境、景観、街、文化、つねに新しいテーマに挑戦

〒530-0055 大阪市北区西野崎7番8号 梅田パークビル 8F  
TEL 06-6367-3800 Mail sccsomu@shusei.co.jp



# 同窓会報告

吉田隆 撰大昭和51年卒

高専昭和51年卒業生（還暦）が約10年ぶりに5回目の同窓会を平成28年4月16日にラウンジ翔にて行いました。今回は急な日程変更等で参加者が24名となりましたが、遠方愛媛県からの参加者もあり、学生時代に振り返りビンゴゲーム等を交えて楽しいひと時を過ごしました。参加者の容姿はみんなそれなりに老けたと思いますが、悪仲間そのまま記憶はストッパし、人間味や温かみなどが増したように感じました。次回3年後の幹事としてさらに人数を増やして盛り上がりたと思います。幹事、皆様おつかれさまでした。



## 撰大卒 土木工学科同窓会

宮崎賢治 撰大昭和60年卒

去る平成28年6月18日（土）～19日（日）、1泊2日の同窓会旅行（安否確認旅行）は2年ぶりの再会を果たしました。

行先は兵庫県南あわじ市の風光明媚な民宿「観潮荘」です。海と山にかこまれた淡路島の桃源郷。鳴門海峡望む温泉民宿海峽パノラマ一望、うずしお温泉美人湯で日頃の疲れを癒しました。今回は、京都市内に住んでいる遠山家に集合。4人を出発。途中、神戸市北区まで1人を迎えに行き、5人での現地入城です。現地到着まで一度、大鳴門橋を渡り徳島県鳴門市にある大塚国際美術館で有名絵画のレプリカを一気に見てきました。そして、疲れた体（車中の飲み過ぎ）で今宵の宿に着いたのです。

温泉に入り、夕食は鳴門海峡の海鮮料理を食べ、ビールで乾杯し楽しい時間を過ごしました。麻雀は民宿で禁止されているため、持ち込んだフォークギターで当時の流行歌を中年男が自分の声と酒で酔いしれ歌い続けました。しかし、隣部屋の年増女達の弾けた賑わいには完敗でした。

翌日は、うずしお科学館、淡路島牧場に立ち寄り、帰路につきました。次回の安否確認旅行は日本海で海の幸を食べながら楽しむことを約束しました。



## 事務スタッフ紹介

山田 あゆみ

はじめまして。4月から、都市環境工学科で勤務しております山田と申します。

今迄は医療機関での勤務がほとんどで、学校業務は未経験でした。学校という独特の雰囲気、に初めは驚きましたが、学校事務という仕事に元々興味があったことと、実際に働いてみてよかったと思えた点が沢山あり、戸惑いは早い段階で無くなっていきました。

学生達が、自分の将来を考えながら学ぶ姿はとても輝かしく、その手伝いが出来ればと感じたと同時に、この環境で私も成長出来ればと思いました。

全く経験がないままスタートし、半年が経過致しました。ご迷惑をお掛けしてばかりですが、先生方や、同じ事務スタッフの皆様を支えられ、時には学生達に声を掛けていただきながら現在迄勤務する事が出来ました。

微力ながらも全力で取り組んで参りますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



## 技術士会だより 会長 木下 幸佐 (撰大昭和57年卒)

技術士会は、平成14年2月の発足以来15年目を迎えました。撰南大学卒業生で技術士・技術士補の方を正会員とし、在校生で技術士第一次試験に合格された方を準会員として構成しており、会員数も71名（内準会員3名）となりました。

技術士会では毎年総会を実施し、その折りには特別講演会を開催して技術の研鑽に勤しんでおります。また年2回の会員相互の親睦会や、在学生に対する技術士第1次試験受験セミナーの開催を行っております。

また平成20年からは、大学技術士会連絡協議会のメンバーとしても大学相互の技術士の連携・啓発活動に参画しており、参加大学も29大学と増加しております。

卒業生の皆様方の中で、技術士および技術士補をお持ちの方は是非、技術士会への入会をお願いします。技術士会のHPより連絡をお願いします。会員相互の連携と親睦をはかり、微力ながら母校の発展に尽力しましょう。

## 株式会社 日照技術コンサルタント

建設コンサルタント

道路、河川・砂防及び海岸・海洋

都市計画及び地方計画

下水道、施工管理、発注者支援

測量

測量全般、鉄道測量（JR）

代表取締役 市原 久照（高専52年卒）

〒611-0041 京都府宇治市横島町月夜3番地の2

TEL: 0774-22-7137 FAX: 0774-22-4966

E-mail: nishio-soumu@cyber.ocn.ne.jp

http://nishio-engineer.co.jp

支店・営業所：大阪支店・城陽支店・南丹営業所

創造力と総合力でお客様のニーズにお応えします

CFKは社会の様々な要請に応えるべく、健全な企業経営のもと優秀な技術者が大いに活躍できる場を確保し、技術力の研鑽とともに、人材育成や働きやすい職場環境づくりに力を注いでいます。

http://www.cfk.co.jp/

## 中央復建コンサルタンツ株式会社

【本社】

〒105-4007 東京都港区江東区中目黒4-15-10

TEL: 03-4466-1123 FAX: 03-4466-1127

【東京支店】

〒100-0005 東京都千代田区麹町2-10-13

TEL: 03-5511-2800 FAX: 03-5511-2801

## HC 株式会社 花村コンサルタント

業者登録

- ・建設コンサルタント業 第8662号
- ・地質調査業 第1760号
- ・測量業 第14744号
- ・土壤汚染指定調査機関 環2003-2-30

代表取締役 花村 浩司（高専C昭和47年卒）

本社 〒611-0042 京都府宇治市小倉町南端 9-8

TEL (0774) 21-5067 FAX (0774) 21-5063

大阪事務所 〒542-0012 大阪市中央区新町 7-3-4 新谷町第三 314

TEL (06) 6764-7438 FAX (06) 6764-7439

## 地球の未来は人の未来。

鳥のさえずり、木々のざわめき、青い空と緑の海。

ほら、地球はこんなにも美しい。

これからも大切にしたいから、

守らなければならない。

少しづつはじめていこう。



東亜建設工業

〒163-1031 東京都新宿区西新宿 3-7-1 新宿パークタワー http://www.toa-const.co.jp/

## テーマ「大学で挑戦したいこと」

# 充実した生活の中で、私達はこんなことを考えています!

## 自分の知識を増やしたい



2年生 藤井 麻梨花

私は摂南大学で、将来役に立つ多くの資格を取得したいです。私が所属している都市環境工学科では、測量学や構造力学、地盤力学など主に土木に関することを学びます。他にも英語や数学、その他教養の授業もありますが、やはり土木の専門的な学問を多く学ぶことになり、他のことは自らが積極的に勉強しなければなりません。私は都市環境工学科に入学しましたが、具体的に将来したいことや就職の方向性を1つに絞ってはいません。上位学年に進むにつれ専門科目が増えていくので、土木に関する知識は得られると思います。自分なりに一生懸命考え、本当に取り組みたいことを選び、自分のなにかがあるか見極めたいと考えています。だから、私はこの学科で土木のことを学びながら積極的に資格を取り、さらに自分の知識を広げたいと思っています。そして、自分の夢や希望を持てたときに選択肢を狭めてしまわないように日々努力し、自分の将来をより良いものにしたいと考えています。

## 創造力豊かな人になるために



1年生 小川 麻希

私は、大学生活で専門的な知識はもちろん、柔軟な想像力や多様な文化を学びたいと考えています。そのために、最も挑戦したいことは海外留学です。海外留学といえば、それに向けての準備(語学学習)や現地での経験により、語学の習得や現地の文化に触れることが十分にできると思います。私の将来の夢は、「建設」という観点から、人間と自然環境との調和ができ、かつ、人々が暮らしやすく安心・安全なまちづくりに貢献することです。そこで、海外留学において言語や文化はもちろん、福祉制度や社会制度などの社会背景がどのようなものか、結果としてどのような「まち」になっているか、また日本とはどのような違いがあるか、といった国境を越えたまちづくりの学習がしたいです。そのためには、日々の学習の積み重ねが必要だと思います。摂南大学は、専門的に力を入れたい科目の履修のほか、自らが積極的に学びたい科目の履修も可能です。もし、学習で理解できないところがあれば、学習支援センターでサポートを受けることもできます。このような充実した環境の下、目標に向かって日々を大切に、有意義な大学生活を送りたいです。

## びわこへリベンジします!



4年生 渡邊 純也

私は、就職が無事に決まり、残る期間は卒業研究に対して一生懸命取り組む考えですが、一方趣味についても挑戦したいことがあります。それは、「自転車で琵琶湖一周」の目標へ向けて挑戦することです。きっかけは2年生のころに、日本一の琵琶湖を制覇してみようと思い立ち、ママチャリで琵琶湖へ出かけました。淀川沿いの大きな堤防の階段を押しながら登り、山を越えたり道を間違えたりと大変な道のりでした。片道4時間かけてやっとの思いでたどりついた琵琶湖はとても大きく、ママチャリではとても無理だと悟り、京都を観光して帰ることにしました。道中ではタイヤのパンクや、10数キロを歩くことも経験して、持参した水もなくなり脱水症状と戦いながら初めての挑戦は散々でした。挑戦に向けては、トレーニングと装備のことを考え、多少のバイトと生活費を削りながら、スポーツバイクの購入費用を貯め、今年3月によくスポーツバイクを購入することができました。さらに体力づくりとタイヤのパンク修理をスムーズにできるように練習を積んでいます。まだ目標は達成していませんが、この経験から事前に調べ、準備することの大切さを学びました。来年度からは社会にでて仕事をしていきますが、摂南大学での大学生活で学んだことを忘れず、一日でも早く一人前の技術者になれるように努力していきます。

## 摂南に入ってよかったと思えるように



3年生 福島 大和

私は、エコシビル部という部活に所属しており、今は微力ながら部長を務めています。その縁もあり、淀川の点野地区を活動拠点としている河川レンジャー、寝屋川市の職員や市議会議員などの様々な方々と共に活動する機会も多く、とても貴重な経験を日々積んでいます。勉強の面でも様々な専門的な学習に加え、教員免許の取得に向けた勉強にも励んでいます。一方で私は、環境コンサルタントの仕事に就きたいとも考えており、そのために将来環境コンサルタントの資格を取得したいです。都市環境工学科の都市環境総合コースを卒業するとJABEE技術者教育プログラム修了により修習技術者となるので、技術士第1次試験が免除になりますが、自力で技術士第1次試験を突破することを今の目標としています。そのためにも、専門科目に力を入れること、さらに本学の学習支援センターなどの学習支援の施設を活用し必ず目標を達成します。建学の精神である世のため、人のため、地域のために活躍できる専門職業人になれるよう、この大学生活でたくさんの方々と吸収し、何事にも一生懸命頑張ろうと思います。

## 編集後記

このページは、私たち大学院生が企画し作成したものです。ここでは、先生方やOB・OGだけでなく学生やそのご家族にも親しみのある会報誌になるように、学生自身の考えや意見を主に掲載しています。現在、本学科には280名の学生が在籍しています。摂南大学土木会の歴史は半世紀を超え、その中で、学生の考え方も変わってきていることと思います。そこで、学生がどのような目標を持って大学生活を送っているのかを皆様に知ってもらいたく、今回のテーマを「大学で挑戦したいこと」としました。それぞれ近い将来を意識するような内容であり、学年を追うごとに目標も明確になってきているように感じました。最後に、このページの作成にご協力してくださった先生方やアンケートに答えてくださった学生の皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



編集委員 大学院1年生  
北村 美紗樹・東中 一晃  
小野 裕基・井上 拓人